

地方都市における運転免許返納意向に対する公共交通割引特典の影響分析

和歌山工業高等専門学校 学生会員 ○反田 吉紀
和歌山工業高等専門学校 正会員 伊勢 昇
和歌山工業高等専門学校 正会員 櫻井 祥之

1. はじめに

我が国では、高齢者人口の増加や高齢者運転免許保有率の上昇に伴い、高齢運転者による交通事故件数は増加傾向にあり、深刻な社会問題となっている。そこで、近年、高齢運転者の運転免許自主返納を促進するための様々な取り組みが各地で行われている。

そのような中、内田ら¹⁾は、意向調査に基づいて運転免許返納のための条件を明らかにしている。また、橋本ら²⁾は、運転免許返納者と運転免許保有者の居住地特性について比較分析することで、運転免許返納のための居住地条件を明らかにしている。しかしながら、既存の運転免許自主返納支援事業に着目し、それらの運転免許返納意向に対する影響について詳細に分析した研究事例はあまり見られない。

そこで、本研究では、交通事故減少に加えて、環境負荷の低減、公共交通活性化の観点から勘案して、全ての運転免許保有者に着目し、1)運転免許自主返納支援事業導入による運転免許返納意向に関する基礎的分析、及び2)公共交通割引特典を活用した運転免許返納意向と運転免許保有者特性との関連分析を行うことで、地域に適した運転免許自主返納支援事業の選択や新たな支援事業の展開に資することを主たる目的とする。

2. 対象都市の概要

本研究で対象とした和歌山県和歌山市は、近年、人口減少、核家族化、高齢化が進行している、人口 370,364人、世帯数152,569世帯、高齢化率25.7%の中核市である。

和歌山市内の交通事故発生件数、負傷者数ともに減少傾向にあるものの、2010(平成 22)年の人口 10 万人当たりの発生件数は 785 件であり、全国(567 件)及び和歌山県(689 件)を上回っている。また、2010(平成 22)年の人口 10 万人当たりの負傷者数についても、和歌山市の 945 人は、全国(700 人)及び和歌山県(856 人)を上回っていることから、今後、更なる交通安全対策の推進の必要性が高いと言える。

3. アンケート調査の概要

本研究では、運転免許自主返納支援事業(既存事業には組み込まれていない特典を含む)を活用した運転免許返納意向と運転免許保有者の特性との関連性について明らかにすることを主たる目的とし、2014 年 11~12 月に和歌山市全域にアンケート調査を実施した(配布部数：6000部、回収部数：984 部、回収率：16.4%)。

4. 運転免許返納意向と必要特典に関する基礎的分析

(1) 運転免許返納意向

まず、運転免許返納意向について集計した結果、「何らかの特典があれば運転免許返納を考える」と回答した人の割合は、高齢になるほど高くなる傾向がある(図-1)。

その一方で、非高齢者についても、少数ではあるものの、返納意思を有する人がいることがわかる。

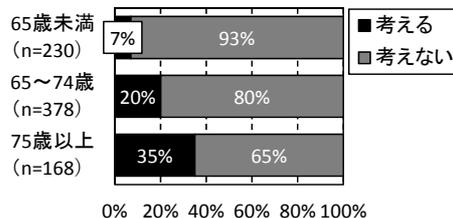


図-1 年齢階層別運転免許返納意向

(2) 運転免許返納に必要な特典

次に、運転免許返納に必要な特典については、「タクシー運賃の割引」を求める人が最も多く、次いで「バス運賃の割引」となっており、運転免許返納に際して、移動支援に関する特典の必要性が高いことが分かった(図-2)。

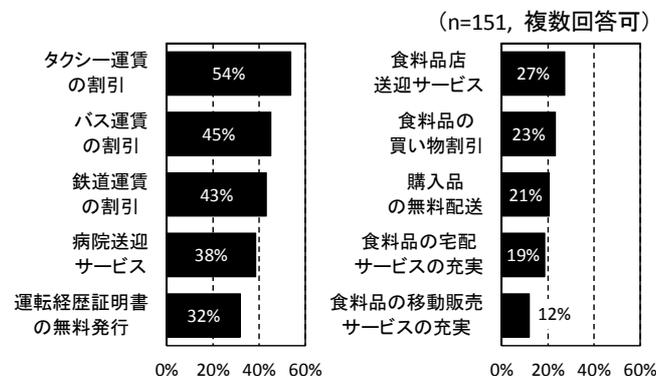


図-2 運転免許返納に必要な特典

キーワード 運転免許返納意向, 公共交通割引特典, 要因分析

連絡先 〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島 77 和歌山工業高等専門学校環境都市工学科 TEL 0738-29-8459

5. 公共交通割引特典導入による運転免許返納意向の要因分析

ここでは、「タクシー運賃の割引」と「バス運賃の割引」の2つの特典に着目し、運転免許返納に際してそれらの特典を必要とする運転免許保有者の特性を明らかにするため、数量化Ⅱ類分析を行った。なお、本分析結果は、独立性の検定に基づく有意性と多重共線性を考慮して、説明変数の選定及びカテゴリーの統合を行い、有意であった変数のみを用いたものである。

(1) タクシー運賃の割引による運転免許返納意向の要因分析

個人属性についてみると、75歳以上(年齢)、自立以上(介護認定)、29分以下(歩行可能時間)のカテゴリーにおいて、カテゴリー数量が正の値を示していることがわかる(図-3)。従って、タクシー運賃の割引は、加齢に伴い身体機能が低下している人の運転免許返納を促進する上で重要な特典であることが読み取れる。また、「自動車・バイクの運転頻度が3週間に1日以下」及び「運転目的が義務交通でない」場合に返納する傾向が見受けられることから、日常的に自動車やバイクを利用していないことも運転免許返納に重要な条件であると言える。

次に、各種環境についてみると、「最寄りバス停まで10分以上」、「よく行く食料品店までの距離が10km以上」、「毎回買い物頼める人がいない」、「よく行く病院までの距離が10km以上」、の条件を満たす環境下にある場合、本特典が運転免許返納促進に有効であることが明らかとなった。



図-3 タクシー運賃の割引による運転免許返納意向の要因分析

(2) バス運賃の割引による運転免許返納意向の要因分析

個人属性についてみると、75歳以上(年齢)のカテゴリーにおいて、カテゴリー数量が正の値を示していること

から、5.(1)の分析結果と考え合わせると、高齢者の運転免許返納において、タクシーやバスといった公共交通の運賃割引は重要な特典であることがわかる(図-4)。

また、タクシー運賃の割引と同様に、日常的に自動車やバイクを利用していない上に、運転目的が義務交通でない人にとって、バスの運賃割引は運転免許返納促進に有効であることがわかる。

次に、各種環境についてみると、「よく行く食料品店までの距離が10km以上」、「よく行く病院までの距離が10km以上」のカテゴリー数量が正に大きいことから、比較的長距離の自動車・バイクの運転を行っている場合に、バスの運賃割引が効果的であると考えられる。



図-4 バス運賃の割引による運転免許返納意向の要因分析

6. おわりに

本研究では、地域に適した運転免許自主返納支援事業の選択や新たな支援事業の展開に資することを主たる目的として、公共交通割引特典を活用した運転免許返納意向と運転免許保有者特性との関連について中心に分析を行った。

その結果、1) タクシー運賃の割引やバス運賃の割引が運転免許返納に重要であること、及び2) 運転免許返納に際してそれらの特典を必要とする運転免許保有者の特性、が明らかとなった。

謝辞

本アンケート調査の遂行にあたり、和歌山市民に多大な協力を頂いた。ここに記して感謝の意を表したい。

参考文献

- 1) 内田元喜, 橋本成仁: 中山間地域における免許返納意向に関する研究, 都市計画論文集, Vol.45, No.3, pp.691-696, 2010.
- 2) 橋本成仁, 山本和生: 居住地特性から見る運転免許返納者の特性把握, 都市計画論文集, Vol.46, No.3, pp.769-774, 2011.